

高天山妙幢院長後寺伝とありゆへは社
部古傳の爲に採られぬのあとし。権現の下
は別湯村より二十有余家あり村の中社
は湯泉あり又部くに別湯あり功純温泉は
乃ちん小瘰癧毒あり其功を治る。領主
清入湯の多し社部和泉といふもの別湯
は入るをあふぬは此物よて建替修葺あり
是を此處の湯といふ也。社部も村並は
部他一入湯の宿賃を以て渡世とせし代
実録曰貞觀十五年夏六月廿六日号未校

出羽國正六位上郡川温泉社部正位下と
あれは郡部をけれを何世の所といふ事を
志すに上古けを郡川と云ふ事も有る
もや或人當所の大日ハ姓古後系村より
いふといふ

一 飯澤館

飯澤村より山館よりてそ標廣し標の
内は極くも松樹千枝は覆りて今にあり天
正十二年九月號をのめよとされといふ
館は姓名詳なりを信哉爲部の家老より